

東海支部愛知地域会 2025 年度 第 6 回役員会議事録

日 時 : 2025 年 11 月 21 日 (金) 16:30~18:30

場 所 : 昭和ビル 5 階 会議室 (名古屋市中区栄四丁目 3 番 26 号)
 ※WEB 会議を併用

出 席 : 野々川光昭 地域会長 西村和哉 本部理事・副地域会長 近藤万記子 高木耕一
 間瀬高歩 各副地域会長 澤村喜久 生津康広 会長補佐 森哲哉 直前地域会長
 笹野直之 東福大輔 川本直義 関口啓介 金山美登利 柳澤力 川口亜稀子 各委
 員長・副委員長 水野豊秋 吉元学 両監査
 (順不同・敬称略)
 下線:オンライン出席

委任状出席 : 内藤正隆 寺田智之 花井秀哲 中川竜夫 恒川和久 黒野有一郎 各委員長 副
 委員長

オブザーバー : 奥野美樹 支部顧問 (三重) 尾関利勝 顧問 浅井裕雄 本部理事・支部長 矢田
義典 堀田正司

欠 席 : 井村正和 石川英樹

議 長 : 近藤万記子

議事録作成担当委員会 : 保存研究会

議事録署名人 : 笹野直之 高木耕一

前回議事録確認 : 2025 年度第 5 回議事録

議 事

1. 地域会長挨拶

地域会長挨拶 続けの行事お疲れ様でした。全国大会のアーカイブで配信予定なので、参加できなかつた方はみることができる。新資格制度は年内の二会合意締結にむけて協議を進めている。JIA マガジン 11 月号に資格制度の説明が掲載され意見募集中です。本日は支部会費についてのご意見をいただきたい。(野々川)

2. 審議事項

① 事業報告「瀬戸持出役員会 + 視察見学会」(野々川)

資料-A

参加者 23 名 瀬戸まちづくり会社の取組や持続可能な資金面の話が聞けた。

栗本氏からは、芸術祭における建築家の関わりの説明があった。

収支報告 資料参照 → 承認

3. 協議事項

① 支部・地域会財務健全化案について (浅井・野々川)

資料-B

総会の振り返り (浅井)

15 年間で 55 名減 毎年 3 % の減 年齢平均 64.7 歳

主体者 50 ~ 60 代の 50 名程

支部キャッシュフロー 80 万円/年赤字

支部収入 協賛金 900 万円 愛知地域会から委託費 480 万円 本部から支部運営費 500 万円

支出 事業費と運営費でトントンとなっている (アキテクト省く)

事務局の固定費を東海と地域会で負担している。

愛知地域会キャッシュフロー 150 万円/年赤字

愛知地域会が支部より目減りが目立っている

地域会収入 運営協力費 95 万円 協賛事業 (名簿広告) 260 万円 賛助会 400 万円

支出 事業費 35 万円 アキテクト送料 70 万円 名簿印刷 160 万円

支部委託費 480 万円 運営費 150 万円

アキテクト + 送料で 500 万円/年 収支で 240 万円/年の赤字となっている

全国 10 支部の中で支部会費を取っていないのは北陸と東海の 2 支部

支部会費は本部で一括徴収なので、事務的には手間が省ける

持続的な運営のため、支部会費の検討（野々川）

18,000円と20,000円で試算 各地域会へ15,000円分配（実行は2027年度から）

愛知は20名ほど会員減少を考慮してシミュレーションを行った

導入のメリット 協賛集めの労力を減らし企画運営に専念

災害対策費用の積立

財政の安定化で各地域会へ助成が可能

アーキテクトを100万円の範囲で発行

愛知は会員名簿発行取り止め（100万円の利益があったが紹介者の減少が顕著になっている）

メリット 個人情報保護 建築家+などの事業を行う 災害対策費用の積立など

今後のスケジュール 12月岐阜・三重・静岡に説明 1月支部役員会で承認

2月会員へ意見募集 3月集約 4月に会員へ伝達

5月支部総会にて決定

6月本部理事会承認・総会を経て 27年4月から徴収

シミュレーション内容→資料参照

会費を20,000円とした場合固定費は上がるが会員が減れば収入が減る。5年先までを見据え

18,000-とした方が良いのでは。皆さんから意見をもらい前向きな議論を（浅井）

役員からの意見

(笛野) 支部会費は致し方ないが、段階的に上げてはどうか。

(間瀬) 同感。¥18,000-が結構な金額なので、丁寧な説明が必要 ¥15,000もあるのでは

(関口) 自立性が大切 企業からいただかないと成り立たない会ではいけないと思う

(水野) 18日本部総務委員会より本部の財政資料が掲載 会費で固定費が支払えるようにするべき。他支部は地域会にいくら戻しているのかが見えると理解が得やすい

(吉元) 会費を取れば解決するわけではない。スケジュールありきで、書面だけで意見をもらうなど丁寧な説明無しではいけない。協賛金を頂くのは社会との接点でもあるので良い面でもある。

(川本) シミュレーションを見るとやむをえない。協賛を集め方向ではなく、協力してもらえる賛同いただく努力も引き続き必要

(澤村) ¥18,000-は妥当な金額だと思う。アーキテクト100万円となっているが、企業賛同する収入も考えて良い

(森) 50~40代のギャップがどうなるかが気になる。若い人が入り残る持続性を本部と一緒に考える。アーキテクト製作費100万と決める前に、150万程上がっている理由を把握すべき

→ページ数と単価が1割程上がっている（野々川） 現在解明中（水野）

(高木) 会員もしくは予備軍への参加のデザイン・主体性を育てる。参加し易くなる会でありたい。身を切らないといけないので¥20,000-は妥当だが段階的に上げる方が良いのでは。

(川口) 丁寧な説明を受けることで賛同できる。会員に賛同得る為には、事業が充実するなどプラス面も一緒に説明出来るようにして説明会の機会をつくる方が良い。

(生津) 会費の件はやむなし賛同 会員減をいかに食い止めるか。JIAの目的明確化が必要。

MAX8000人から減っている分析が必要 JIAの目指す方向が明確化とメリットがどこにあるか、情報交換、賛助会からの新しい情報、同業者が集まることで社会のニーズに応えるなど、モチベーションが上がるよう、会員数をいかに増やすかを考えると良い。

(東福) アーキテクト発行回数減ると協賛しやすいが年100万だと年1回になるのでは

(金山) 東海支部の事業と地域会の事業費用が横断している印象。10年先の会員が減っていくのを見据えて、例として支部と地域会が一緒になる事も考えた方が良いのでは。

(柳澤) 協賛集めて頂いた方々や改訂案の制作の苦労に敬意。5年先までのシナリオだが、減っていくのは必然なので、固定費の縮小・削減も将来的にあるのでは。

(矢田) 事業縮小で会費アップは若い方に魅力がなくなるのでは。アーキテクトのページ数が増えるなど約束が守られないのではなく、会員役員自体の意識改革が必要。

(奥野) 三重でも説明会を考えている。三重は3000円上乗せなので影響は小さいかもしないが、支部と各地域会で30ある事業のマンパワーが不足 会費が上がる前の来年の1年間

に事業の見直しを模索中 来年も意見を収集して支部と各地域会が活性化するようにしたい

(近藤) ¥18,000-致し方ない。支部運営費を本部から頂く仕組みだが、5年10年後も支える本部の事情も知りたい。

(尾関) 役員レベルで広く会員を巻き込んで常時このようなことをする必要があり、理解する方を増やす。活動の中で収益を生む事業を行なっても良いのでは。

(西村) 各地域会の決済後の支部の決済となる。今のスケジュールだと12月には決済を得たい。丁寧な説明が必要だが時間的には厳しい。他の地域会との距離感がある。各地域会に説明するが温度差がある。丁寧に説明しながら進めていきたい。

(水野) 本部も5年は持たなく会費が上がることも考慮すべし。

(浅井) 資料見て説明することで理解して頂けることがわかった。

7割のサブレント会員への周知方法、理解する方を増やしていく方法として多角的に情報収集、発信を積極的に行う。

② 2026年度会員名簿発行について（野々川）

会員名簿をもう一年は発行する 審議として→意義なし

12月から会員への案内準備を進める。企業の広告協賛をお願いしたい

4. 専決事項なし

5. 報告事項

（1）委員会、研究会、WG 報告

事業委員会 猪高小学校 2月25日 1日開催お手伝い募集（金山）

以外の報告は次第を確認

（2）その他報告

① 資格停止届 納村信之 3年間休会（野々川）

資料-D

② 選挙管理委員会 17日立候補締め切り、委員会開催にて立候補者全員当選

愛知地域会 会長・副会長候補 川本直義氏・笹野直之氏・関口啓介氏・
間瀬高歩氏・中澤賢一氏

監査 石田壽氏・吉元学氏となりました（生津）

資料-E

③ 賛助会＆地域会役員合同忘年会 12/10 QRコードで申込ください（野々川）

資料-F

④ JIA 愛知新年会 1/23 セントラルパークのアルコバで開催 建築賞学生4名と東海住宅建築賞受賞者を招待する（野々川）

資料-G

⑤ 後援名義使用報告「Let It Green!」10/4～25 開催 1100名越え参加 次回動画報告（矢田）

資料-H

6. 支部・本部報告

（1）支部報告（西村）

千葉大会 正会員27名 一般1名 賛助会5名 設計競技2次公開審査 12/21 資料-L

支部大会（静岡）全14名愛知5名 参加募集中 支部役員選挙管理委員会 11/25 開催後報告

（2）本部報告

財務委員会（水野）愛知の仮設住宅競技会事業は20万円認めて頂いた。

三重の申請は認められなかった。

資料-M

教育委員会（吉元）リフレッシュセミナー熱海のセンターが閉鎖だが、2月に以前参加された方が集まって振り返り今後のありかたを議論する。理事の方応援依頼

資料-N

ケンハイセミナー11/25 弁護士による民法の判例説明 参加募集中

資料-P

7. 監査意見

次第の本部理事 澤村さんから西村さんへ修正依頼（水野）

大事な内容は割愛するのではなく会議を延長しても良いのでは（吉元）

次回役員会 2025年12月19日(金) 16:30～18:15(JIA 東海支部事務局会議室・WEB会議併用)

次回議事録担当委員会：総務委員会

(次回総務委員会：2025年12月19日(火)16:30～)

議事録作成 川口亜稀子

議事録署名人 笹野直之

議事録署名人 高木耕一